

築40年を経過した 公共施設を視察

6月定例会会期中の6月17日に、建設産業経済常任委員会で協議してきた公共施設の状況把握の一環として、建築年数40年以上を経過している「総合センター」「勤労青年センター」「保育所」の3施設の現地視察を行いました。

総合センター〈昭和50年度竣工〉

総合センターは、放課後や夏休み・冬休み等に子どもたちを預かる「遊学館」をはじめ、たっしやまつり・文化まつりの開催や各種健診、高齢者や乳幼児の各種教室、社会教育教室、文化協会事業、各種総会や会議の実施など、乳幼

児から高齢者まで村民に非常になじみの深い施設で、避難所としても活用されています。

土砂災害が懸念される裏山は、今年度より県による急傾斜地崩壊対策工事が実施されます。



勤労青年センター〈昭和54年度竣工〉

「勤労青年に余暇活動の場及び仲間作りの機会を与え、その健全な育成を図る」ことを目的として、山梨県が建設し、建設後は村で管理しております。

現状では各スポーツ施設の管理棟としての役割が主となっており、体育祭やロードレース大会などの倉庫としても活用されています。



保育所〈昭和55年度竣工〉

未就学の子どもの健全育成の基礎となる保育所ですが、こちらにも竣工から40年が経過しました。

昨年度、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、ホールにエアコンが設置され、快適で安全性の高い空間が創出

されました。

現在、排水設備の老朽化に伴う臭気が発生しており、改善策が検討されています。

今後も老朽化による不具合をその都度解消しながら、安全・安心な保育所運営が望まれます。



委員会活動

総務教育厚生常任委員会

委員長
佐藤博水

6月4日に、総務教育厚生常任委員会を開催し、令和3年度の活動内容について協議を行いました。

総務教育厚生常任委員会では、平成28年度より村内の各種団体等との座談会を開催し、意見交換を実施しており、この活動は全国町村議会議長会でも高く評価していただいております。

今年度も住民の皆さまとの意見交換等での声を聞き、村政へ反映していくことをテーマに活動して参りたいと思います。

協議の結果、今年度は「消防団」「スポーツ少年団役員」「青少年育成会」「ブルーベリー応援隊」「ブルーベリージャム組合婦人部」「4Hクラブ女性部」の6団体を意見交換の対象団体候補とさせていただき、そのうち3団体と意見交換会を開催することと決定しました。

関係各位の皆様には、お手数ではございますがご協力を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺次男

6月7日に、建設産業経済常任委員会を開催し、令和3年度に実施予定となっている、村が主体となって施行する村道・水道関係工事や国・県が主体となって施行する工事について振興課より説明を受けたほか、継続的に協議しております道の駅リニューアルについての協議などを行いました。

◆道の駅リニューアルについて

4月22日に開催した「道の駅専門部会」での協議事項を報告し、その内容をもとに意見交換を行いました。

【専門部会報告事項】

①活き活き広場の活用について

ドックランや家族が動物と遊べる施設としての活用についての検討を総務課に依頼した結果、実現可能か研究していただくこととなった。検討期間は、9月頃を目標とするよう依頼した。

②観光PR動画の新規作成について

観光協会や関連企業にも協賛して貰い、鳴沢村のプロモーション動画をYouTubeで配信すると共に、道の駅などのHPで

も使える様にしたいと企画課に検討を依頼。

村では現在HPの更新作業を進めており、その製作過程で既存のPR動画に誘導して視聴率を上げる工夫をしているので、その後必要なら再度検討していくとの回答を得た。

③道の駅担当者との意見交換について

施設管理や販売方法・陳列方法の工夫などの対策について、道の駅の担当者と意見交換を行うことに関しJA鳴沢村組合長などと協議し、山梨大学からの提言やその他要望事項も含め、集客アップに繋げるための意見交換を実施することを確認した。

Q 現役世代の健康増進施策は

A 調査研究し事業実施を検討

村民誰もがコロナ禍で生活や健康に影響が出ていると思う。

高齢者に対し村では事業参加者にポイントを付与し、楽しみながら健康増進ができる施策を実行しているが、現役世代にも同じような施策が重要ではないか。

村内の40歳以上を対象とし、健康ポイント積立制の新制度を試みてはどうか。付加価値をプラスし、村民のリスクそのものを減らす健康プログラムであり、民生費抑制にもつながると思う。現役世代の健康増進のための新たな施策実施の考えは。



ポイント付与事業のふれあいグラウンドゴルフ大会



小林 昭一 議員

●村長 小林 優

現在、健康の維持・増進を目的にして実施している事業は、特定健診等で要指導とされたハイリスク者への健康教育や健康教室などである。現役世代のポイント制となると、一般の方が参加できるイベントが少ないのが現状である。

多種多様な価値観が存在する時代となり、村の事業も時代に沿った形でのイベントを行っていく必要がある。

健康意識が低い方へどのようにして健康意識を高めていくかが課題となるが、効果的な事業を調査研究し、事業実施について検討していきたい。

Q 富士山噴火時の対応は

A 新しい広域避難計画に沿って見直す

富士山噴火ハザードマップが改訂されたが、住民説明会を開催する考えはあるか。

また、富士山火山防災避難マップの更新および避難計画の策定など今後の対応は。

●総務課長 三浦 寿得

令和2年に富士山火山防災対策協議会が小規模噴火時の溶岩流と火砕流のシミュレーションを中間報告として公表した。今回の改訂版は新たに中規模と大規模噴火時の溶岩流、融雪型火山泥流などを追加し、溶岩流や火砕流等が居住地域へより早く到達し、影響範囲も広範囲となった。

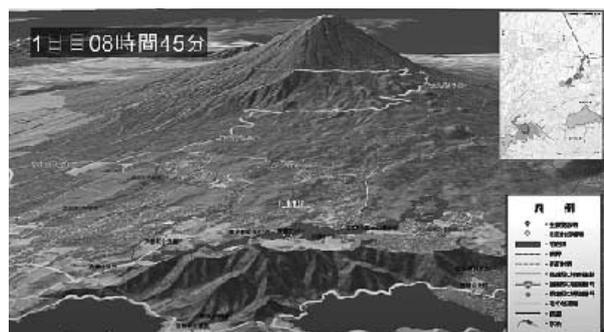
ハザードマップ改訂に伴い、山梨、静岡、神奈川3県と関係機関による広域避難計画を令和4年3月を目標に見直す予定がある。これを受け鳴沢村地域防災計画や避難計画の見直しを行う予定である。

住民説明会については、県が作成した富士山火山ハザードマップの説明動画を村のホームページに掲載し、まずは富士山火山について正しく理



渡辺 次男 議員

解してもらうことから始め、新しい広域避難計画を基に各種見直しを行ったうえで様々な方法により住民への説明を行う。



富士山火山噴火による溶岩流シミュレーション動画(山梨県HPより)



Q 避難情報の変更に伴う 周知計画は

A ハザードマップを修正し
広報誌等で周知

本年5月から自治体が発信する避難情報が変更され、警戒レベル3の「高齢者等避難」で高齢者・障害者などの避難を、レベル4の「避難指示」で全員が避難するなど改定された。最新のハザードマップを示し、地区ごとの災害リスクを周知徹底する為の説明会の実施計画はあるか。

また、コロナ禍における避難所の感染防止対策は。

●総務課長 三浦 寿得

現在の土砂災害ハザードマップは、県による平成24年度の地形データに基づき作成し、今も警戒区域に変更はないが、今回、自治体が発する避難指示情報に変更されたことに伴い、新たなハザードマップの作成を計画している。

また、周知については、令和元年度の防災訓練で参加者150名に避難行動などの説明を行い、防災リーダーからハザードマップを配布していただいた。これらの取組みの成果により、大雨特別



土屋 文明 議員

警報が発令された令和元年10月の東日本台風時には、土砂災害警戒区域等の住民35名が総合センターに無事避難された。今後も村広報誌や防災訓練を通じて土砂災害への備えについて周知する計画である。

コロナ禍で災害が起きた場合は、密集を避けた避難が求められる。避難場所は必ずしも避難所だけではなく、土砂災害警戒区域の外に出ることが避難であり、親戚、友人宅への避難や、車で避難することも考慮していただきたい。避難所を利用する場合には、各自で体温計、消毒用アルコール、マスクを持参して避難所をご利用いただきたい。

また、避難所には定員を設定しており、家族ごとにパーティションで仕切るなどしてプライバシーにも配慮した運営を行うこととしている。

大雨や台風に備えましょう!!

土砂災害

台風や集中豪雨・地震が原因で土砂災害が起こることがあります。

鳴沢村で想定される土砂災害の種類

土石流

山腹が崩れて発生する土石や渓流の土石が一気に崩れる自然現象
山や谷の石や土砂が、大雨や集中豪雨による大量の水と混じり合って、一気に下流へ押し流される現象です。
土石流の速さは時速30~40kmもあり、すさまじいスピードで周辺の建物や川などを飲み込んでいきます。

急傾斜地の崩壊

傾斜が30度以上の土地が崩れる自然現象
地中しみ込みや地下水や地盤の揺れによる影響等で、山の斜面が突如崩れ落ちる現象のことです。
崩れるスピードはトビで飛ぶ速さ、災害が発生してから避難は困難なため、危険を感じたら早めて避難することが大切です。

鳴沢村土砂災害ハザードマップ

- 急傾斜地：特別警戒
- 急傾斜地：警戒区域
- 土石流：警戒区域
- 土石流：特別警戒

こんな現象が起きたら5つの前兆と注意点

割れ目	斜面に割れ目ができる	注意	急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり!
落石	山の斜面から石が転がり落ちてくる	注意	急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり!
地鳴り	山から地鳴りが聞こえてくる	注意	土石流が起こる可能性あり!
水位の減少	川の水位が下がっている	注意	土石流が起こる可能性あり!
川のざり	急に川岸に近づいて、溝などが崩れてくる	注意	土石流が起こる可能性あり!

土砂災害対策

土砂災害の発生に備え、今できる防災を考えましょう。

ステップ1

ハザードマップの確認

ハザードマップで土砂災害の危険箇所と避難ルートを確認しておきましょう。

鳴沢村土砂災害ハザードマップ

- 重ねるハザードマップ
- 避難行動判定フロー

ステップ2

正確な情報収集

防災行政無線、テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の気象情報・避難情報を確認しましょう。

- 鳴沢村メール
- 気象庁ホームページ

ステップ3

日常の準備・早めの避難

非常時仕出しの用意をしましょう。周知の事前準備に注意し、異変があれば、町からの避難情報を待たずに、すぐに避難しましょう。

警戒レベルと避難情報

令和3年5月20日から避難指示は必ず避難

避難勧告は廃止です

これまで

- 5 緊急安全確保
- 4 避難指示
- 3 高齢者等避難
- 2 大雨・洪水・泥流注意報(発令時)
- 1 警戒注意報(発令時)

令和3年5月20日(発令) 住民が取るべき行動

- 5 緊急安全確保 命の危険を伴う安全確保!
- 4 避難指示 危険な場所から1時間以内の避難を要する
- 3 高齢者等避難 高齢者等から避難行動を要する
- 2 大雨・洪水・泥流注意報(発令時) 自身の避難行動を確認
- 1 警戒注意報(発令時) 災害への心構えを高める

広報なるさわ7月号に、土砂災害の種類や避難情報の変更について詳しく掲載されています。

14

Q 新庁舎建設時のエネルギー対策は

A ゼロカーボンを意識して進める

●土屋文明 議員

今年2月に山梨県と県内全27市町村は、共同では全国初となるゼロカーボンシティ(※1)宣言を行い、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目標としている。

既に他の自治体では様々な取組みが取られており、富士川町では2022年完成予定の新庁舎に大幅な省エネと創エネを取り入れ、環境にやさしい庁舎づくりを目指すとしている。

新庁舎建設に対し、エネルギー消費量削減の対策とZEB(※2)補助金制度の活用は。

●村長 小林 優

(CO2排出量削減の施策として)これまで、太陽光発電設備等への補助、道の駅なるさわの急速充電機設置などを行って来ている。

新庁舎建設についてもCO2削減やZEB補

助金の活用については、断熱効果の高い資材使用や太陽光発電、蓄電池設置、又噴火対策等も併せて検討しながら有利な補助金を活用していきたい。

現在、新庁舎建設に当たっては、当初計画の2022年完成は困難な状況であるが、ゼロカーボンを意識した庁舎建設を進めて行きたい。

(※1) ゼロカーボンシティ

2050年に温室効果ガス排出量又は二酸化炭素を実質ゼロを目指すことを目指す旨を、首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体。

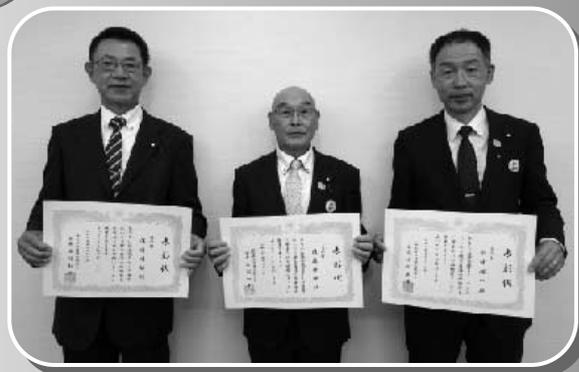
(※2) ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

建築計画の工夫によって大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間消費エネルギー量が大幅に削減されている最先端の建築物。

3議員が自治功労者表彰を受賞!

5月31日に甲府市の自治会館で山梨県町村議会議長会自治功労者表彰式が行われ、渡邊明雄議員、佐藤博水議員、小林昭一議員が自治功労者表彰を受賞しました。

各氏は、町村議会議員として10年以上在職し、その功績が顕著だったとして受賞されました。



山梨県町村議会広報功労者表彰を受賞!

7月9日に甲府市の自治会館で山梨県町村議会広報功労者表彰式が行われ、「議会広報を10年かつ40号以上を発行し、他の町村の模範と認められる議会」として、本村議会が町村議会広報功労者表彰を受賞しました。

平成22年9月1日発行の第1号からスタートし、10年以上に渡り歴代の広報常任委員が「住民にとって読みやすい議会だより」を目指して検討を重ね、試行錯誤を繰り返して作成に取り組み、県の広報コンクールで「奨励賞」を4度受賞するまでになりました。

また、多くの住民の皆さまに原稿作成やご意見の投稿など、多大なるご協力をいただき、10周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。



過去に行われた一般質問がどう取り組まれたか、その後を追跡しました。

観光振興への取り組みは

質問 令和2年3月定例会

三浦 直樹 議員

溶岩樹型の周辺整備計画の進捗状況は。観光施設等への案内看板設置など先を見据えて観光振興すべきでは。

また、新型コロナによる観光業の落ち込みに対する救済措置は。



国道139号沿いにある鳴沢溶岩樹型の石碑横に設置

答弁 観光協会や事業者と連携し推進

溶岩樹型などにインバウンドにも対応した案内看板を設置予定。先を見据えた観光振興は観光協会や事業者と連携し推進する。

新型コロナの救済措置としては、借入金利子の70%について利子補給補助を実施。国・県・近隣市町村の支援策や最新の動向を確認し、商工会と連携して中小企業者を支援していく。

現在

溶岩樹型などに案内看板を設置

令和2年度に溶岩樹型と鳴沢氷穴に案内看板が設置され、一本木登山口付近にもポケット公園及び案内看板が整備されました。

また、新型コロナの影響を受けた事業者支援として「観光事業者等衛生対策補助金」「中小企業者等事業継続支援金」などの支援策が実施されました。

コロナ禍における学習支援は

質問 令和2年6月定例会

渡邊 明雄 議員

コロナ禍による学習の遅れを取り戻す工夫は。

ICT端末、授業動画配信などの活用の考えはあるか。



タブレット端末を活用した授業風景

答弁 ICTを活用した学習に向け準備を進める

夏休みを短縮することで学びの時数を確保し、放課後学習を行う予定。

ICT端末等活用として大型モニターを使用したデジタル教科書を取入れている。授業動画公開やリモート授業などについては、各家庭の事情や、実施するための教員の技術・知識の取得等の課題があるが、ICTを活用した学習を提供できるよう準備を進めていく。

現在

一人一台のタブレット端末を整備

令和2年度に高速大容量ネットワーク及び児童一人一台端末(タブレット端末)の整備が行われました。小学校ではデジタル教科書やデジタル教材を授業に取り入れながら活用を始めているところであり、今後については、動画配信など様々な活用方法が検討されています。

議会だより

モニター通信

議会だよりモニターの皆さまから、5月発行の議会だよりNo44について、次のようなご意見等をいただきました。皆さまからのご意見を参考に、今後もよりよい議会だよりを作りたいと思います。

村の動きがよくわかり毎回楽しみにしています。

新型コロナウイルスワクチンに関して、鳴沢村の対応は迅速で、高齢者にも負担をかけない封書での申し込み。素晴らしいと思います。

コロナ収束までワクチン接種に携わる方々は大変だと思います。本当にありがとうございます。

(80代 男性)

『当初予算をチェック?』のコーナーでは、質問・答弁の順に記載されており議論の内容が分かりやすいと思いました。

新型コロナウイルス感染症が未だ収束が見えない状況ですが、感染対策・支援等の対応に感謝いたします。

(40代 男性)

4Hクラブの座談会の記事を読み、天気、獣害と農業の大変さが伝わりました。新規就農を志すことは相応な覚悟がいることと思います。

今ある村の富士山と畑の風景を当たり前と思ってはいけなかったと思いました。感謝して地元野菜を美味しく頂こうと思います。

(30代 女性)

歳入歳出の内訳(円グラフ)が〇〇費と項目記載でなく〇〇に使うお金のように説明されていて、分かりやすく良いと思います。

一般会計予算の推移のグラフは大きな変化が分からず、もう少し工夫する必要があると感じました。

(70代 男性)

とても気になる「地域おこし協力隊の人材発掘方法」ですが、ズバリ、総務省=他力本願はダメだと思います。

自分たちと村民の知恵とアイデアを結集し発信。魅力を発信するのは、ソフトとハードを整備すれば可能だと感じています。

(60代 女性)

新型コロナウイルス感染症対策としてくらし応援商品券を配布していただき、とてもありがたかったです。商品券は経済の活性化にもつながると思います。

在宅介護支援や障害児支援があったようですが、一人親世帯へはどんな支援をしているのか気になりました。

(40代 女性)

「新年度 議会が注目する事業はこれだ!!」のコーナーは写真と簡潔な文章でインパクトがあり、わかりやすく読みやすくて良かったです。

(50代 男性)

歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書を国へ提出しているのを議会だよりを見て知りました。この意見が通ればこれからの子供たちはいいなと思いました。

これからも色々な情報を掲載していただきたいです。

(20代 男性)

近隣自治体との比較があれば、私のような嫁いで来た人や、新しく村民になった人も読むきっかけになるのではないのでしょうか。

内容は毎回とても分かりやすく素晴らしいです。読む機会を作ることも大切だと思います。

(30代 女性)

村の伝統芸能「太々神楽」 で奮闘

志賀 隆昌

次男がようやく8歳になり、鳴沢村に移住してから同じ8年が過ぎました。その前は中国で夫婦ともに日本語教師をしており、現在は施設で介護の仕事に携わっております。

子供はさらに三男も加わり、一家5人森の中で静かに暮らしています。静かと言っても子供らは元気よく保育所や学校で走り回り、近所では松ぼっくり野球をしたりと大忙しです。私ができるスキーマを楽しむ長男なんてうらやましい限りです。



負けじと私も以前から気になっていた、春祭りの鳴沢村太々神楽保存会の活動に参加させていただきました。初めての篠笛ではまず音が出ず、面を被ったの舞では前が見えずオロオロしたりと大変でしたが、当日は大汗かきながら何とか終わることができました。大福をもらおうとはしゃいでいる子供たちは本当に楽しそうで嬉しそうでした。



今後はもっと鳴沢村が大事に続けていることや村の歴史などを知り、子供たちの故郷の魅力をたくさん発見していきたいです。

広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！ ランチ情報！

広報常任委員長
土屋 文明

ジューデン コーヒー

昨年11月に開店したカフェスタンド。大田和西交差点から富士山方面へ向かった左手にシンプルデザインのお店がひっそりと佇む。SNSで評判となり、若い家族連れやカップルが訪れる。

「深煎り」「浅煎り」とそれぞれ豆の仕入先を厳選した珈琲は抜群。鳴沢産キャベツと自家製ベーコンを使ったホットサンドも熱々で美味。オリジナルの焼印はインスタ映え間違いなし。

テイクアウト中心が時流に合っているのかも。皆さんもいかがですか。



総務教育厚生常任委員会より

東京都では4度目となる「緊急事態宣言」が出され、県内でも、感染力が強いとされる「デルタ株」の感染者が確認されるなど、新型コロナウイルス感染症はいまだ全国で猛威を振るっています。

ワクチン接種が開始されましたが、供給量不足の報道もあり、各自治体で対応に苦慮しています。

引き続き、一人一人ができる感染対策をとって行動することが重要です。

◆ワクチンは「発症や重症化の予防に高い効果がある」とされており、感染しなくなるというものではありません。ワクチンの接種後も、マスク・手洗い・うがいといった基本的な感染予防策は継続しましょう。

◆ワクチン接種の有無に関わらず、発症や重症化を抑えるためにも、バランスの良い食事を心がけ、適度な運動をして睡眠も十分にとり、免疫力を高めましょう。

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

